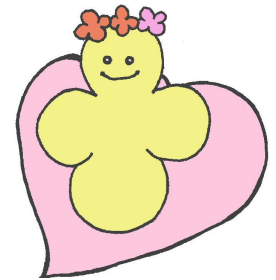


# 特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター

## 2010年度事業計画(案)



キャラクター「ふるる」

### 1.販路・受注拡大事業

合同販売会「はーとふるメッセ」は協力事業所(株イオン様)での定期的な開催により、地元の皆様にもイベントが浸透してきました。今年度は新たに千葉ニュータウンにおいても開催を予定しており、県内の福祉施設の自主製品の県民への認知度向上、売上向上、ひいては工賃向上を目指します。また、請負作業を行っている事業所が安定した仕事を得るために、企業への営業活動をすすめます。県内自治体から障害者就労支援事業所への官公需発注を促進するための取り組みをすすめます。

#### ①合同販売会「はーとふるメッセ」の開催、その他地域イベントでの販売会、作業所製品の紹介

・2010年度はーとふるメッセ開催予定日及び開催会場

7月16日～17日	イオンモール富津
8月7日～8日	イオンモール千葉ニュータウン
8月27日～28日	イオン柏ショッピングセンター
9月17日～18日	イオン津田沼ショッピングセンター
1月21日～22日	イオン津田沼ショッピングセンター
2月18日～19日	イオン柏ショッピングセンター

#### ②振興センターホームページの積極的な活用

振興センター本体のホームページから独立したインターネットショッピングサイト「はーとふるメッセ.com」を効果的に運用すると共に、ネットショッピングへの顧客層をとり込むための商品カタログを効果的に配布し、認知拡大を図る《ちば工賃向上チャレンジプラン パーチャル店舗事業》。また、振興センター本体のホームページは、振興センターからのお知らせだけでなく、法令や会計等に関する制度情報も掲示し、事業所にとって参考となる情報を提供する。

#### ③福祉ショップ「はーとふるメッセ美浜店」の運営（千葉市美浜区保健福祉センター内2階）

県内福祉作業所の自主製品等の展示、販売および注文取次ぎを行う。ネットショッピングサイトに掲載した商品を取り扱うリアル店舗として、ネットやカタログからの来客数の増加を図る。

#### ④受注業務請負事業所への取り組み

企業に対しては福祉作業所等に対して請負業務を発注するメリットや、作業所等が請負業務受注のスキルがあることを営業すると共に、福祉作業所に対しても、企業から業務

受注を得るための研修や企業への同行を実施し、安定した請負業務の受注獲得を目指す。

#### ⑤官公需推進に向けた取り組み

自治体からの発注を促すための指標(官公需目標発注率)を設け、端たる努力目標ではなく達成に結びつくためのシステム作りを行う。また、障害者就労支援事業所でどのような生産品目や作業スキルがあるのか自治体が把握するためのデータベースを作成し、発注、受注がスムーズに進むよう整備する。

## 2.事業経営、活動研修事業

「ちば工賃向上チャレンジプラン」の一角として2009年度実施した、「実践事例研修」、「ワークショップ研修」をさらに発展させ、「工賃向上」を見据えた研修やワークショップを開催します。

講師から受講者への一方通行の研修ではなく、事業所の課題に直接対応し、問題解決に個別的、具体的に職員の資質向上と研修参加者のネットワークの構築を進め、自主的・継続的な取り組みを実施します。

### ■個別相談プログラム

#### ①店づくり相談

- ・臨店指導(講師:商業施設士)  
ショップを持つ事業所を対象とし、来客数(売上)を増やすための店舗レイアウト・ディスプレイ等の指導

#### ②商品づくり相談

- ・食品評価(講師:食品製造、販売事業所)  
おいしさ、安全性を客観的に評価し、品質改善を促す
- ・包装デザイン相談(講師:パッケージデザイナー)  
お客を惹きつけるラッピング、パッケージデザインの検討

#### ③法人運営相談

- ・NPO法人運営(講師:中間支援団体)  
NPO法人の立ち上げ、運営にかかわる相談
- ・会計相談(講師:振興センター経営支援相談員、税理士事務所)  
会計に関する訪問相談

### ■研修プログラム

#### ①工賃向上

- ・工賃向上ワークショップ(第3期)(講師:(有)キュベル 風間英美子氏)  
福祉事業所同士の気づきの場、学びの場として、15施設が応募。年度末に向けたアクションプランを作成し、約10ヶ月のなかで施設訪問、社会人ビジネススクール生との情報交換会などを経ながら課題解決を進める。
- ・商品開発研究会(講師:城西国際大学 福田順子氏)  
自主製品開発に向け、専門家のアドバイスを受けながら参加者同士が議論し、開発に取り組む(毎月第3土曜日開催)
- ・店づくりセミナー(講師:商業施設士)

ショップを持つ事業所を対象に、店舗を経営するための集客力向上セミナー

## ②マネジメントスキル

- ・ビジネスマナー研修(講師:JALアカデミー)  
施設職員を対象とし、販売・接客を中心としたビジネスマナーの研修(5月開催)
- ・販売スキルアップ研修(講師:商業施設士)  
合同販売会「はーとふるメッセ」出店施設向けに、販売会での店作り(商品陳列、POP、接客等)、集客力向上のための実践的研修

## ③管理業務

- ・労務管理の課題(講師:社会保険労務士)  
障害者福祉施設のための労務管理、リスクマネジメント
- ・福祉施設会計塾(講師:会計事務所)  
就労支援事業会計を理解するための全6回の研修
- ・地域活動支援センター等のNPO会計(講師:中間支援団体)  
地活や個別給付事業を運営するNPOのための会計講座

## ■はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2010の開催

障害者福祉施設による販売活動及び作られた製品の中から、年間を通じて最も優秀な施設及び製品を選定し、選ばれた施設・製品には「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー」の称号を授与する。施設・製品を称えることにより、障害者福祉施設の一層の販売力・製品力の向上に資することを目指す。

## 3.事業開拓、商品開発事業

ecoたい肥「いんばの恵み」の開発や、2008年度実施した「障害者が担う温暖化防止事業」での経験を踏まえ、環境保全対策と障害者就労とのマッチングさせた仕組みづくりについて研究を行なうと共に、環境分野における障害者就労拡大に向けた活動をすすめます。また、障害者施設が生産する各種商品で課題となっている訴求力の弱さを克服するためのブランド構築やネットショッピングにおいて販売に繋がる商品の開発をすすめます。

### ①作業所の自主製品づくりへの支援

授産品を障害者の生産活動だけの視点で捉えるのではなく、消費者のニーズにあった、購買意欲をそそる商品として捉え、商品のブラッシュアップに事業所と協働で取り組む。また、商品パッケージや商品陳列、価格設定等、研修やバザー開催を通して知識習得を図る。

### ②ネットショッピング市場で通用する商品開発

低単価で個性に乏しいといわれる現状の授産品から、高単価で付加価値の高い、ネットショッピング、ドロップシッピング等で取り扱われることのできる商品開発を事業所と協働ですすめる。

#### ④環境分野等における障害者就労機会拡大の検討

温暖化防止に向けた取り組みや資源循環・環境保全型の地域づくりが広がりをみせる中で、障害者がその担い手として就労できる仕組みを研究し、障害者の就労機会拡大を目指す。

#### 4. 移行等支援事業

障害者自立支援法上の事業体系へ移行し、安定した事業継続を支援するために、移行前の施設・事業所だけでなく、移行済みの施設・事業所も含め、事業経営の基盤となる会計、労務、請求事務等の研修会や施設が抱える課題を改善するための個別相談を継続して行います。

##### ①小規模作業所等の法人格取得に向けた研修・相談会の開催

法人格を取得していない団体がNPO法人等の取得に向けた研修会の開催や新体系移行のための体制整備の相談受付。

##### ②移行前、移行後の事業者に向けた新体系における会計や諸基準の研修・相談会の開催

会計、労務管理、請求事務等の実務について、専門機関と連携した研修や相談受付、コンサルタントの派遣を実施する。

##### ③新事業体系への移行に向けた、事業所と県・自治体との調整

事業所が抱える事業体移行の様々な課題について相談に応じると共に、解決に向けた取り組みを県や自治体とも情報交換を行ないつつ実施する。

以上